



明治大学校友会 市川地域支部会報

# まつかぜ

第8号  
2012  
春(4月)

## 第七回 支部総会開催される!

発行: 明治大学校友会  
千葉県西部支部市川地域支部  
〒272-0835 市川市中国分4-13-12  
発行人: 行木 勝男

風薫る、平成23年5月15日(日)に、市川地域支部第七回総会を例年の通り、市川グランドホテルに於いて、会員69名の参加のもと開催いたしました。ご来賓として校友会本部より小林副会長、千葉県西部支部より猪瀬支部長各々地域支部より支部長のご出席を頂き、伊与久副支部長の司会により始められました。

議事に先立ち、東日本大震災で犠牲になられた方々のご冥福を祈り全員で黙祷を奉げ、引き続き右田幹事の閉会の挨拶の後、議事に

はいました。議長には、行木支部長が選出され議事に入り、平成22年度事業報告、収支報告、監査報告、平成23年度の事業計画、収支予算がそれぞれの担当よりの説明があり、協議の後、承認され議事は終了しました。

議事の終了後、ご来賓の小林副会長より、大学の現状についての講演があり、昨年に引き続き入学志願者数が日本一になったこと、創立130周年記念事業として、中野キャンパスの新設、和泉、生田キャン

パス拡充整備等の説明があり終了しました。

休憩の後、第二部の懇親会が、井上幹事の開会の挨拶で始まり、乾杯を最長老の川辺氏(昭和22年卒)の音頭により行われ、祝辞を西部支部の猪瀬支部長より頂戴いたしました。

その後、会員相互の交流、懇親の場となり酒を酌み交わし和気藹々と歓談が行われ、会員の絆が深められました。

アトラクションとして、聖徳大学OGの音楽アンサンブル「ディバレンジャー」の若い美女たちの美声による合唱に聞



き惚れ、彼女達と一緒に「ふるさと」を合唱し、大いに盛り上がりました。最後に、伊与久剛史氏の指揮のもと全員で

校歌を高らかに合唱し、柴山幹事の閉会の挨拶で、第七回支部総会は盛会のうちに閉会となりました。



## 明治大学 創立130周年記念 第47回 全国校友東京大会

明治大学は、1881年(明治14年)岸本辰雄、宮城浩蔵、矢代操の三人の法律家により、明治法律学校として創立され、記

立ち、平成23年11月1日には、アカデミーホールに大学関係者約1,300名が参加し盛大に記念式典が開催され、長堀守弘

第47回全国校友東京大会は、平成23年11月3日(木)アカデミーホールで開催され、市川地域支部からも母校を思う19名の多数が参加した。

大会旗(旗手:土井 淳 昭和31年商卒 元プロ野球選手)が入場すると拍手と歓声に包まれ、真野孝志大会実行委員長から、創立130周年を祝う大会に約2,100名の校友を迎えることが出来た、紫紺の絆を世界に広げよう、と歓迎の挨拶があった。

向殿校友会長の挨拶の後に長堀理事長、納谷学長、丹沢連合父母会々長の祝辞があり、長堀理事長は、20年先の学生がどんな場所で活躍しているかグランドデザインが出来上がった。今後、世

界に注目され輝くような人材を育成すると、創立150周年に向けての抱負を語った。

来賓の猪瀬東京都副知事と石川千代田区長は、共に東日本大震災にふれ、副知事は、帰宅困難者が300万人もなったが、今後は行政だけでなく明治大学のネットワーク等を生かしながら企業にも協力をお願いしたいと祝辞と述べられた。

記念講演は、ホリプロファンダー最高顧問の堀威夫(昭和30年商卒)より「いつだって青春 数多の逆境を乗り越えて」と題して、講演が行われた。

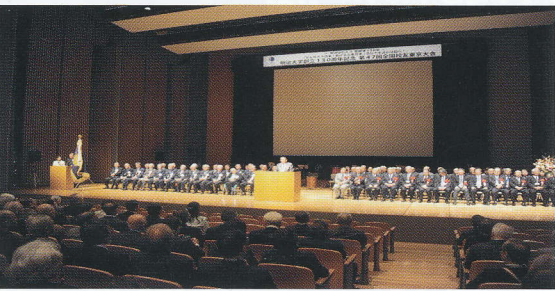
懇親会は、会場が帝国ホテルの「孔雀の間」に移され、ジャズオーケストラの演奏で幕が開き、真野大会実行委員長等の挨拶



挨拶の後、超満員の会場は大いに盛り上がり、全国から参加した2,100名の



校友は、母校愛に燃え創立130周年記念を祝い、さらに絆を強め来年の全国校友静岡大会での再会を誓い合い、応援団吹奏楽部により校歌を大合唱し閉会した。



念すべき130周年を迎えた。

建学精神である権利自由、独立自治は、今でも生かされており「世界へ(個)を強め、世界をつなぎ、未来へ」と世界に誇れる大学を目指し新たな歩みを始めている。

全国校友東京大会に先

理事長、納谷廣美学長、の式辞と、来賓の中川文部科学大臣(代理:清水事務次官)、清家日本私立大学連盟会長の祝辞の後、創立130周年記念功労者(個人、団体)に対し表彰が行われ式典は終了し、市川地域支部も功労感謝状を受賞した。





# 第八回 市川地域支部総会の開催について

## 【平成24年度 第八回 明治大学 市川地域支部総会日程】

【日時】平成24年5月27日(日) 11:00~14:00

【場所】市川グランドホテルに於いて 千葉県市川市市川1-3-18 (JR市川駅北口徒歩3分)

【次第】・第一部 総会(11:00~12:00) ・第二部 懇親会(12:00~14:00)

※案内状を送付致しますので、ご返信の上ご参加を宜しくお願い致します。

なお、ご欠席された会員の皆様には、会報等を送付させていただきますので宜しくお願い致します。



## 市川市民まつり参加レポート

平成23年11月5日(土)に大洲防災公園に於いて開催されました第36回市川市民まつりに市川地域支部は、昨年に引き続き参加いたしました。

地域貢献として防犯ボランティアパトロールに

参加されている会員の皆様も、市川地域支部として、明治大学及び、支部の校友会のPRと会員募集も兼ねて参加いたしました。出店ブースの設営では、幹事・会員の皆様が、朝6時30分に会場に集合し、

運営関係者の皆様と伊与久副支部長の提供と飾り付けによるブース前の生花と看板の筆稿等により設営が完了し、夕方4時近くまで明大校歌を流しながら明大

グッズの販売、阿久悠記念館等のPRを行いました。

会員の皆様には、葉書で通知をさせて頂いたところ60名を超える方々にお越しいただきました。

なお、明大グッズの販売および、明大スポーツ無料配布については、

前年度まで担当されておりました前幹事の中村晃夫会員、明大サポートの水口祐介様、明大スポーツの尾村ゆり子様等の多大なるご協力頂いた方々、並びに、早朝より設営と運営に協力して頂きました役員・会員の方々に厚く感謝申し上げます。

## 第36回 市川市民まつり会場にて



## 交流と親睦を図る“新年の集い”を開催



平成24年2月5日(日)午後5時より、昨年と同様に、JR本八幡駅北口の「うえだ別館」に於いて、開催されました。市川地域支部の事務局よりご案内させて頂きましたところ、総勢70名近くの会員の皆様方の出席がありました。

“新年の集い”は、伊与久副支部長の司会進行により、支部の山田顧問、行木支部長から



の挨拶、並びに、東日本大震災で罹災された方々への黙祷の後に、川辺氏(昭和22年商学部卒)の乾杯の挨拶発声により、和やかに会員の皆様の交流と親睦を図る集いが始まり



ました。会員の紹介では、新参加会員の紹介と挨拶があり、引き続き参加者全員各自より、卒業年度・学部の自己紹介が行われました。

ゴルフ、カラオケ、ハイキングの各同好会より、各会の活動状況が報告されると共に、新会員の入会募集について説明がされた。

歓談の中、カラオケ自



慢の方々の喉の披露があり、その後、恒例となっている参加者の持ち寄った品物(景品を協賛して頂いた方々に心より厚く御礼申し上げます。)による福引が今回はビンゴゲームによって行われた。終了後に、卒業学部毎の記念写真の撮影が行われました。

短い時間でしたが会員相互の交流親睦がはかられました。

最後に、参加者の全員による明治大学校歌



を斉唱し、伊神監査委員(昭和27年商学部卒)の閉会の辞により、盛況のうちに閉会いたしました。



## 第9回 明治大学校友会 西部支部総会の開催について

【 日 時 】 平成24年6月3日(日) 14:00～17:00  
 【 場 所 】 三井ガーデンホテル 柏 に於いて  
 ※ 詳細は、地域支部宛にお問合せ下さい。

### “まつかぜ”に独り言



#### “ 雑 感 ”

内 田 八 郎 (昭和36年 法学部卒)

昨今の母校明治大学の多岐にわたるパワーには敬服と校友として誇りを感じます。

創立130周年を迎え全国大学受験志望者数で3年連続で首位の座を守り、全国大学硬式野球では15年ぶり5度目の優勝で優勝で日本一を達成、箱根大学駅伝も紫紺のランニングの胸にMの白抜きで古豪校として復活、また学生を向かい入れるキャンパスも白雲なびく駿河台には、リバティータワー、アカデミーコモンと既存のキャンパスのほかにもグローバル人材の育成を目指し、新たに5箇所を建設中で、まさに「世界の明治大学」の実現は目前です。

現下の理事会、教職員、校友会、父母会が一体となり母校の地位向上に努力されていることに敬服します。

私の学生時代を今想うと恥ずかしい限りです。登校したら、まず駿河台校舎の中庭にある掲示板を覗いて休講の表示があれば喜んで仲間を誘って喫茶店や麻雀屋へ直行し食事は師弟食堂で大盛カレーライスで空腹を満たすような日々でまさに落ちこぼれの学生でした。

今や母校は雲の上の明治大学となりました。

しかし、何はともあれ現実には社会活動の中で「私も明治大学を卒業しました。」と胸を張り、多くの校友に恵まれありがたく感謝する次第です。

これからは母校のため校友会のため少しでもお手伝いしたいと思います。

明治大学 「 前へ、世界へ、 明治は一つ 」 がんばれ！



#### “ 明珠会で聞いたこと ”

小 菅 公 (昭和30年 政経学部卒)

平成23年6月 明珠会(明治大学実務珠算研究部)のOB会がありました。

私は、この会の事務局を15年間預かっておりましたので、知り合いが多くなりました。その中に、「武士の家計簿」という映画のため、俳優さんに「そろばん」を教えることになり、ご自身も出演した人がおりました。

江戸時代のその映画には、そろばんに割算の九九が使用され、覚えるのに大変だったそうです。少しでも間違えると、監督さんに叱られるそうで苦労したとのことでした。その人が、「割り算の九九を知っている人は、いらっしやいますか？」ときいたところ、誰もおらず、私だけでした。

私は、子どもの頃、そろばん塾に通っておりましたので、その時に覚えたことを、よく記憶しておりました。なつかしい思い出です。



#### “ 時代が変わった ”

伊 神 玲 子 (昭和27年 商学部卒)

先生、時代が変わったのよ。と皆に言われます。時代の何が変わったのでしょうか？

そう私はどちらかというと戦中派です。終戦の前日疎開先の栃木の女子高の学校工場で陛下の玉音放送を聞き翌日終戦を迎えました。

私は、翌年父の言葉に従い手に職を得る為、東京の明治大学女子部経済科に入学しました。疎開先は宇都宮線の間々田駅から徒歩30分です。その後、数日は駅まで歩き汽車に乗り通学しました。女学校時代は、東京。栃木とも学校に併設された工場で働きお勉強などした覚えはありません。

東京の親戚の叔母に連れられお茶の水の駅に降り合格発表を見た時の、夢のような気持ちは今でも忘れられません。入学式は昔の記念館講堂で行い全員の校歌合唱、六大学野球の応援歌合唱は翌日の神宮野球場の応援の予行演習でした。私の母の実家、町屋から当分通学することになります。女子部の経済科に入ったものの商業簿記などわかりません。借り方、貸し方、チンブン、カンブンです。私は、今でいう一番年少者です。地方からの方は年上の方が多かったです。女子部の3年間は、山の上ホテルの前の坂道を社会地理の大塩先生といろいろな話をしながら降りて上野駅に行きました。今でも若い方よりお年寄りの方とのお話のほうが好きです。

あれから何年経ちましたか。時代は変わりますが勉強しようとする志は変わらないのではないのでしょうか。私は、明治大学商学部を卒業したおかげで、今でも少しの社会貢献が出来たと思います。有難うございました。



# 紫紺の軌跡 (1)

いまの自分があるのは明治のおかげ!  木川 正博 (昭和63年 政経学部卒)

いまの自分があるのは明治のおかげ・・・日々そう思っています。高校受験で縁があり入学したのが明大中野高校でした。『質実剛健・共同自治』の校訓のもと明治大学の核、やがては社会の核となるために自主的に行動することを学びました。

当時学校の校則は厳しく先生も怖く入学当時は軍隊かと思いました。でも明るくのびのびと楽しんでいる生徒ばかりでした。先生、先輩とのつながりが強く、自分も気がつけば明治の血が体に流れはじめていました。高校一年生で明大の先輩のアドバイスを受け、サークルを立ち上げ大学生に追いつけるよう背伸びして活動しました。野球もラグビーも応援に行き始めました。このときから遊びも勉強も仕事も精一杯頑張る自分が始まったのです。まわりの友達が部活動等でやっていたのでゴルフ・テニス・スキー・アーチェリー・乗馬もはじめました。なんでもチャレンジすることの始まりでした。明治の学生であるほこりを持って高校生活を楽しましました。

この流れで大学生活がスタートしました。入学して最初のオリエンテーションで担任教授から付属からきた学生はクラスの渉外担当を頼まれました。連絡網の整備(当時、携帯電話はなく)、クラスコンパの企画、サークルの設立に時間を費やしました。その後もクラス、サークル、ゼミでも渉外担当として4年間1日も無駄にすることなく過ごしました。

あっという間に4年の春から就職活動が始まりました。ここでも高校～大学の先輩から声をかけていただき旅行会社へ有無を言わずに決めました。入社した年、明大生の合宿や卒業旅行の販売で新人賞もいただきました(後輩達ありがとうございます!)

そして10年勤めてゼミの先輩の誘いで保険会社へ転職、後に明大出身者の同志が集まり、乗り合い代理店の設立、来店型保険ショップを市川にオープン(出店場所を見つけていただいたのも大先輩です)と、すべてが明治つながりできました。現在はゼミの同窓会の会長と明大市川地域支部の会計幹事を務めさせていただいております。16歳から始まった明治への母校愛が30年経過しました。

# 紫紺の軌跡 (2)

校友との絆  右田 滋幸 (昭和38年 法学部卒)

会社勤務時の昭和58年、初めて広島へ赴任した。初めてのところで、友人も知人もすくなく不安で如何に業績をあげるか苦慮していたところ、校友会の下部組織で建設会社か、もしくは建設業に携わる仕事している会社の人で構成している校友の会で、「明広会」と言う会があり早速入会させて頂いた。

(当時の会長は、現 全国校友会副会長の水戸川 旭 先輩だった。)

当時、会員は、約40名程度だったが、春は「花見」夏は「暑気払い」秋は「松茸狩り」暮れは「忘年会」と、また年に3～4回のゴルフ会と、多くの先輩、後輩達と親睦を重ねることができ営業活動にも大いに助かった。(最盛期には、会員約90名になった。)当時、丁度よのなかは、「バブル景気」に沸いていた時で、よく校友と一緒に明治の校友が集まる店で、酒を酌み交わしたりカラオケで歌ったりし楽しい8年間の広島時代だった。それもみんな明治の校友と出会えたからと感謝している。

8年後、東京本社へ転勤になったが、草速「明広会 東京支部」を立ち上げ現在会員16名で年に2～3回親睦を重ねている。

東京転勤の平成3年、市川市に居をかまえ、縁あって明治大学市川地域支部の仲間に入れていただき、又新たな先輩、後輩達との新しい出会いが生まれた。

広島へ赴任する前までは、校友会等全然興味がなかったが、今は沢山の校友との知り合いになり今後も校友との絆を大切にしたいと思っている。

## 第48回 明治大学 全国校友 静岡大会のご案内

【 日 時 】 平成24年9月9日(日)  
【 場 所 】 グランシップ(静岡)中ホール大地 14:00～  
《 懇 親 会 》 グランシップ(静岡)大ホール海 17:30～  
※詳細は、明治大学校友会事務局宛にお問合せ下さい。







# 平成23年度、市川地域支部に入会された新会員のご紹介！

平成23年度に、新入会された方をご紹介します。（敬称略 順不同）

## 【新入会員の皆さま】

- ・吉田 育生（昭和44年 法学部）
- ・細田 伸一（平成元年 法学部）
- ・溝口 文穂（平成5年 短 法学部）
- ・通川 結実（平成14年 短 法学部）
- ・宇田川 純一（昭和46年 農学部）
- ・中村 泰彦（平成2年 政経学部）
- ・高橋 大輔（平成11年 法学部）

新たに入会された7名の方々です。



## 第二回 マンドリン倶楽部 市川公演計画 進行中！



市川地域支部の更なる充実発展のためと、地元市川市への社会貢献として、平成20年10月11日(土)に開催した明治大学マンドリンクラブチャリティーコンサートはそれ以来、既に3年以上経過致しました。そこでこのたび、引き続き市川地域支部の充実発展と社会貢献のために、現在、第2回の公演開催に向けて実行委員会の立上げを行っております。

開催は、平成26年度を予定しており、日程等が決まりましたらご案内致します。今後、市川地域支部の会員の皆様のご支援を賜ることとなりますので宜しくお願い申し上げます。

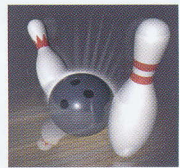
## ボーリング同好会 囲碁同好会 新入会員 募集中！



ボーリング同好会、囲碁同好会の会員を募集しています。  
※入会希望の方は下記へ、ご連絡下さい！

### 《連絡先》

- |          |   |
|----------|---|
| ボーリング同好会 | 井上 喜久男（昭和42年 経営学部卒）迄<br>電話 047-325-1638 |
| 囲碁同好会    | 鈴木 宣男（昭和34年 政経学部卒）迄<br>電話 047-372-8819  |



## カラオケ同好会について



平成23年度のカラオケ同好会は年間4回の例会を開催いたしました。例年通り、紅白対抗戦で行い、結果は次の通りです。

- ・第20回例会参加者17名⇒白組の勝利
- ・第21回参加者17名⇒紅組の勝利
- ・第22回参加者15名⇒白組の勝利
- ・第23回参加者21名⇒紅組の勝利でした。

なお、第23回例会、兼忘年会は新入会員が2名参加し、総勢21名が集まり賑やかな例会

となりました。これからも益々会員が増え活発な活動が出来ると思っています。今年度年間成績は、下記の通りです。

- ・最優秀賞⇒月館さん、
- ・第2位⇒橋詰さん・佐川さん
- ・第3位⇒右田さんとなりました。

平成24年度例会の開催スケジュールは、下記の通り、平成24年3月11日⇒6月10日⇒9月30日⇒12月9日の各日曜日の予定となっております。



平成23年12月の例会にて

新規入会者募集中！



# ゴルフ同好会について



平成23年度のゴルフ同好会の活動状況は、別表の同好会コンペの成績報告の通りとなっております。

なお、年間4回コンペを実施し、毎年1月には新年会を催しています。

新規入会の会員を募集しております！



鏡山カントリー倶楽部にて



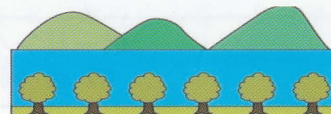
## 【平成23年度同好会コンペの成績】 敬称略

- 《第17回大会》平成23年 7月15日(金)  
鎌ヶ谷カントリークラブに於いて (参加人数 15名)  
優勝 中村 欣治 2位 平野 博 3位 星野 隆
- 《第18回大会》平成23年10月 7日(金)  
山田ゴルフ倶楽部に於いて (参加人数 14名)  
優勝 土橋 敏雄 2位 石川 守也 3位 中原 忠良
- 《第19回大会》平成23年12月 9日(金)  
千葉国際カントリークラブに於いて (参加人数 15名)  
優勝 土橋 敏雄 2位 中原 忠良 3位 中村 欣治
- 《第20回大会》平成24年 3月30日(金)  
鏡山カントリークラブに於いて (参加人数 14名)  
優勝 平野 博 2位 斎藤 英夫 3位 中原 忠良

## 【ゴルフ同好会の入会希望の方は下記にご連絡下さい。】

- ・電話(自宅) 047-371-1840
  - ・携帯電話 090-2169-3527
- 伊与久 剛史(昭和42年 文学部卒) 迄  
※入会のご連絡をお待ちしております。

# ハイキング同好会について



## ～実現した観光梨園での梨もぎ～

平成23年の例会の企画に当たり、前年に雨天で中止した全国有数の生産を誇る市川の「観光梨園」での梨狩りに未練があり、改めて大野町の梨園「大重園」での梨狩りを平成23年9月26日(月)に実施した。家族同伴可として参加を募ったが、8名の会員だけが参加。現地での集合時間13時30分には参加者の全員が顔をそろえた。

当日は、どんよりとした曇り空で天候に不安があったが、まず園主から梨の種類・おいしい梨の見分け方や梨のもぎ取り方などの説明を受け、この時期においしい豊水・新高の梨狩りと



なった。広い園内を各自が説明を受けた成熟した実を選び、木や根を傷めないように収穫した。見分け方が結構難しかったが、それでも次々に慣れ、気がつけば全員がかなり多くの梨をもぎ取っていた。天候の崩れが気になっていたが、案の定、小雨が降り始めたので梨もぎは中止。園主のご好意で雨宿りをさせて



大野町の梨園「大重園」にて

頂き、皮をむいて下さった美味しい梨をご馳走になり、ひと時を談笑しながら雨の止むのを待たが、止む様子もなく少し残念な思いを待ちつつ、15時に解散した。

最後になりましたが、「大重園」を紹介してくださった、市川地域支部の伊与久剛史会員にお礼申し上げます。有難うございました。



## 編集雑記

平成23年度は、明治大学創立130周年記念と第47回全国校友東京大会が開催されなど、イベントの多い年度でした。

会報にも掲載されていいますが、現在、第2回 明治大学チャリティーコンサート開催に向け支部役員の方々が準備を行っており

ます。詳細に公演のスケジュール等が決まりましたら次回の会報でご案内できればと思っております。なお、まつかぜに寄稿し

て下さった方々にお礼申し上げますと共に、紙面の都合により寄稿された方々に満足いくような内容にならなかった箇所もあった点

を深くお詫びいたします。これからも、皆様のご協力を受け充実した内容の会報になっていければと思っております。(C. A)